

ステークホルダーとのコミュニケーション

基本的な考え方

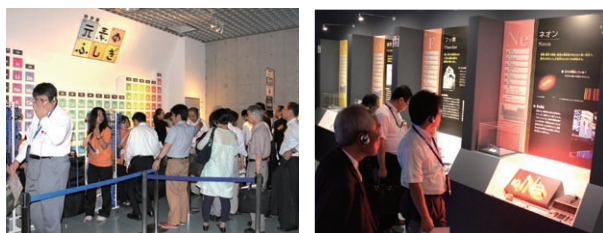
東京エレクトロングループでは、企業活動を支えるステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切にしています。ウェブサイトでの情報発信、取引先さまに向けた「TELパートナーズデイ」や「生産動向説明会」の開催、社員と経営者との定期的な対話の場となる「社員集会」、社会とのつながりを重視した広告宣伝活動および科学イベントやスポーツ協賛を推進しています。

今後も継続的なコミュニケーションを通じ、当社に対するご期待やご意見を経営に生かしていきます。



●「元素のふしぎ」に特別協賛

2012年7月21日から10月8日まで国立科学博物館（東京・上野公園）で開催された展示会「元素のふしぎ」に特別協賛しました。半導体や太陽光パネルとも密接にかかわりのある元素の性質や用途をわかりやすく解説し、より多くの方々に最先端テクノロジーに欠かせない元素を身近に感じていただく展示会となりました。



展示会「元素のふしぎ」

● 社員集会

社員と経営者の対話の場である「社員集会」を継続して実施しています。毎年国内拠点・海外拠点を交互に行っており、本年は国内を中心に、東北、宮城、山梨、九州、韓国のグループ各社にて実施しました。会社の状況説明やメッセージを発信するとともに、社員からの質問・発言を通じて活発な対話が行われます。今後も社員の声を経営に生かし、コミュニケーションの場を大切にしていきます。



社員集会

TOPICS

2013年SEMI井上皓 EHS※1賞

井上皓 EHS 賞は、世界の主要な半導体/FPD 製造装置、材料メーカーの国際工業会 SEMI の EHS Division が主催する賞です。この賞は、SEMI の元役員で、力強い環境安全の提唱者であった東京エレクトロンの元社長、故井上皓氏の生前の功績を称え、2000年に設立されました。SEMI の小委員会が選考を行い、半導体業界および社会の中で EHS 分野での顕著な功績が認められた産業界や学界の個人に授与されます。

2013 年は、グローバルファウンドリーズ社の CEO アジット・マノチャ (Ajit Manocha) 氏が受賞し、7 月 9 日に SEMICON West 2013 (米国サンフランシスコ) の会場で授与式が行われました。グローバルファウンドリーズ社は、マノチャ氏のリーダーシップのもとで、EHS 分野で大きな実績をあげています。選考委員会はマノチャ氏の受賞理由として、次のような功績をあげています。

- 事故ゼロ安全文化
- 半導体製造工場運用における環境効率への貢献
- PFC 排出削減のベストプラクティスへのWSC※2公約
- コンフリクトフリー・サプライチェーンへのWSC公約



授与式の様子

用語解説

※1 EHS : Environment, Health & Safety、環境・健康・安全。

※2 WSC : World Semiconductor Council、世界半導体会議。